

安全データシート

ページ: 1/16

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01.06.2023

製品: Double-Up 66DG / ダブルアップDG

バージョン: 5.0

(30300638/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日: 12.07.2023

1. 化学品及び会社情報

品名:

Double-Up 66DG

ダブルアップDG

用途: 農薬製品, 除草剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】:

急性毒性: 区分4 (吸入 - 粉塵)

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分3 (呼吸器系を刺激する)

水生環境有害性 短期 (急性): 区分2

水生環境有害性 長期 (慢性): 区分1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告

危険有害性情報:

H332 吸入すると有害。
H335 呼吸器への刺激のおそれ。
H401 水生生物に毒性。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き:

P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102 子供の手の届かないところに置くこと。
P103 使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き (安全対策):

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
P261 粉じん又は煙の吸入を避けること。

注意書き (応急措置):

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。
P304 + P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P391 漏出物を回収すること。

注意書き (保管):

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405 施錠して保管すること。

注意書き (廃棄):

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性:

12章のPBT (難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質) とvPvB (難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質) の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

アレルギー反応を起こす可能性がある。含有物:

二ナトリウム=マレアート

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤, 顆粒水和剤

GHS分類に寄与する成分

1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

含有量 (W/W): 66 %

CAS番号: 136849-15-5

水生環境有害性 短期(急性): 区分 1

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 1

M-ファクター急性: 1000

M-ファクター慢性: 100

ドデシル硫酸ナトリウム

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 10\%$

CAS番号: 151-21-3

化審法: (2)-1679

労働安全衛生法: (2)-1679

可燃性固体: 区分 2

急性毒性: 区分 4 (吸入 - 粉塵)

急性毒性: 区分 4 (経口)

急性毒性: 区分 5 (経皮)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

ナトリウム=デカン-1-イル=スルファート

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $< 1\%$

CAS番号: 142-87-0

化審法: (2)-1679

労働安全衛生法: (2)-1679

急性毒性: 区分 4 (経口)

急性毒性: 区分 5 (経皮)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3

ナトリウム=テトラデシル=スルファート

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $< 1\%$

CAS番号: 1191-50-0

化審法: (2)-1679

労働安全衛生法: (2)-1679

急性毒性: 区分 5 (経口)

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2

眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1

水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

水生環境有害性 長期(慢性): 区分 2

ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $< 1\%$
 CAS番号: 25155-30-0
 化審法: (3)-1884
 労働安全衛生法: (3)-1884

急性毒性: 区分 4 (経口)
 皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
 水生環境有害性 長期(慢性): 区分 3
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 1
 水生環境有害性 短期(急性): 区分 2

ニナトリウム＝マレアート

含有量 (W/W): $< 1\%$
 CAS番号: 371-47-1
 化審法: (2)-1102
 労働安全衛生法: (2)-1102

皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
 急性毒性: 区分 5 (経口)
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A
 皮膚感作性: 区分 1
 特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

カオリン

含有量 (W/W): $< 20\%$
 CAS番号: 1332-58-7

非晶質シリカ

含有量 (W/W): $\geq 1\%$ - $< 10\%$
 CAS番号: 112926-00-8
 化審法: (1)-548
 労働安全衛生法: (1)-548

1,2-ジクロロエタン

含有量 (W/W): $\geq 0.1\%$ - $< 1\%$
 CAS番号: 107-06-2
 化審法: (2)-54
 労働安全衛生法: (2)-54

引火性液体: 区分 2
 急性毒性: 区分 3 (吸入-蒸気)
 急性毒性: 区分 4 (経口)
 皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性: 区分 2A
 発がん性: 区分 1B
 特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
 誤えん有害性: 区分 1

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き (回復体位) で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。、(他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:

二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:

一酸化炭素, 二酸化炭素, 窒素酸化物, 硫黄酸化物, シリカ化合物
火災の場合、前述の物質/物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用すること。

[追加情報]:

火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。粉塵を発生させない。

[環境に対する注意事項]:

土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。

大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。粉塵を発生させないこと。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:

粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。粉塵を発生させない。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 湿気を避ける。熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 36 月

次の温度以上にならないように保護すること: 40 °C

もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

カオリン, 1332-58-7;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入域フラクシオン

数値は、アスベストを含まず、結晶性石英の含量が1%未満の粒子状物質の値 TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.025 mg/m³ (労働安全衛生法 (JP)), 粉塵

暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/[1.19*(\% \text{遊離シリカ})+1]$ から計算される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 8 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 2 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

非晶質シリカ, 112926-00-8;

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 3 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入性粒子

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 10 mg/m³ (ACGIHTLV), 吸入可能粒子

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 0.025 mg/m³ (労働安全衛生法 (JP)), 粉塵

暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式 $3.0/[1.19*(\% \text{遊離シリカ})+1]$ から計算される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 総粉塵

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 1 mg/m³ (日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP)), 吸入性粉塵

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具：固体および液体粒子に対して高効率の微粒子フィルタ（例：EN 143 P3型もしくはEN 149 FFP3型）。

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	固体
色:	オフホワイト色
臭い:	特異臭
臭いのしきい値:	吸入による有害性のため、決められていない。
pH:	約 8 - 10 (100 g/l, 20 ° C) (分散液として)
融点:	> 100 ° C 与えられたデータは、活性成分の値である。
沸点:	製品は未試験である。
引火点:	該当しない、製品は固体である。
蒸発率:	適用せず
可燃性 (固体/ガス):	構造もしくは組成に基づくと、引火性の兆候はない。
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。

自己発熱性: 自己発熱性物質ではない。

爆発危険有害事項: 化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。

火災を引き起こす性質: 構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。

蒸気圧: 高融点のため、数値は、決定されていない。

嵩密度: 約 620 kg/m³

相対ガス密度 (空気): 適用せず

水に対する溶解性: 分散可能

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):

本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): 2.86
(pH: 5)

粘度: 該当しない、製品は固体である。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:

強酸, 強塩基, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

11. 有害性情報

ばく露経路

急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg

急性吸入毒性

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): 3.7 mg/l 4 h

急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 4,000 mg/kg

死亡なし

急性毒性の評価

短期間の吸入により中程度の毒性。単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

症状

情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ:

モルモット: 感作性なし

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

発がん性**発がん性の評価:**

各種の動物実験の結果は、発癌効果の兆候を示さなかった。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

生殖毒性**生殖毒性の評価:**

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

発生毒性**催奇形性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ナトリウム=デカン-1-イル=スルファート

催奇形性の評価:

この物質は動物実験では奇形を引き起こさなかったが、親動物に対して毒性を示すような高用量では発生毒性が認められた。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報： ドデシル硫酸ナトリウム

催奇形性の評価:

この物質は動物実験では奇形を引き起こさなかったが、親動物に対して毒性を示すような高用量では発生毒性が認められた。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

気道を刺激する可能性がある。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）**反復投与毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ナトリウム=デカン-1-イル=スルファート

反復投与毒性の評価:

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。高用量は、反復経口曝露で臓器に特定の損傷を与える可能性がある。

記載物質に関する情報：ドデシル硫酸ナトリウム

反復投与毒性の評価:

動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。多量の反復暴露で特定の臓器に影響を与える可能性がある。

記載物質に関する情報：カオリン

反復投与毒性の評価:

肺胞に到達する粒子/埃を繰り返し吸入摂取すると、肺に損傷を起こす可能性がある。

記載物質に関する情報：非晶質シリカ

反復投与毒性の評価:

この物質は、高用量の反復吸入により、肺に障害を与える可能性がある。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:

長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。水生生物に毒性。

魚類に対する毒性:

LC50 (半数致死濃度) (96 h) 100 mg/l, コイ (学名: *Cyprinus carpio*)

水生無脊椎動物:

EC50 (48 h) 9.5 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

記載物質に関する情報：1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

水生植物:

EC50 (72 h) 0.0035 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapit* (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

無影響濃度 (72 h) 0.00011 mg/l, 緑藻 (学名: *Selenastrum capricornutum*)

移動性

環境区分間の輸送評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

環境区分間の輸送評価:

土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):

容易に生分解性されない (OECD基準による)

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01.06.2023

製品: Double-Up 66DG / ダブルアップDG

バージョン: 5.0

(30300638/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日: 12.07.2023

国連番号もしくはID番号: UN 3077
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質(固体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (シクロスルファミロン)
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 容器等級: III
 環境有害性: 該当
 使用者への特別注意事項: 知見なし

海上輸送

IMDG

国連番号もしくはID番号: UN 3077
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質(固体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (シクロスルファミロン)
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 容器等級: III
 環境有害性: 該当
 海洋汚染物質: 該当
 使用者への特別注意事項: EmS: F-A; S-F

Sea transport

IMDG

UN number or ID number: UN 3077
 UN proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (CYCLOSULFAMURON)
 Transport hazard class(es): 9, EHSM
 Packing group: III
 Environmental hazards: yes
 Marine pollutant: YES
 Special precautions for user: EmS: F-A; S-F

航空輸送

IATA/ICAO

国連番号もしくはID番号: UN 3077
 品名 (国連輸送名): 環境有害性物質(固体) (他に品名が明示されているものを除く。)
 (シクロスルファミロン)
 国連分類 (輸送における危険有害性クラス): 9, EHSM
 容器等級: III
 環境有害性: 該当
 使用者への特別注意事項: 知見なし

Air transport

IATA/ICAO

UN number or ID number: UN 3077
 UN proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (CYCLOSULFAMURON)
 Transport hazard class(es): 9, EHSM
 Packing group: III
 Environmental hazards: yes
 Special precautions for user: None known

指針番号: 171

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01.06.2023

製品: Double-Up 66DG / ダブルアップDG

バージョン: 5.0

(30300638/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日: 12.07.2023

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

[追加情報]

下記の規定に基づき、正味5kg以下の入目で適切な容器で出荷される製品に対してnon-DGとして適用される。:

ADR, RID, ADN: Special Provision 375;

JT/T617.3;

IMDG: 2.10.2.7;

IATA: A197;

TDG: Special Provision 99(2);

49CFR: § 171.4 (c) (2).

15. 適用法令

消防法: 非危険物

1,2-ジクロロエタン

労働安全衛生法

通知対象物

ドデシル硫酸ナトリウム

ナトリウム=デカン-1-イル=スルファート

ナトリウム=テトラデシル=スルファート

化審法

優先評価化学物質

通し番号: 214

ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム

化審法

優先評価化学物質

通し番号: 140

化学物質名又は元素名	化学物質排出把握管理促進法 (2023年4月1日以降)		
	含有量 (%)	分類, 管理番号	政令名称

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 01.06.2023

製品: Double-Up 66DG / ダブルアップDG

バージョン: 5.0

(30300638/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日: 12.07.2023

1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素	66	第2種指定化学物質, 776	1-[2-(シクロプロピルカルボニル)アニリノスルホニル]-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素
ドデシル硫酸ナトリウム	4.4	第1種指定化学物質, 275	ドデシル硫酸ナトリウム

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253 : 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。